

## 事業所工賃向上計画(令和6年度～令和8年度)

作成日: 令和 6年 5月 1日

### 1. 事業所の概要

運営法人名称	株式会社 ゼロックス		
法人代表者職・氏名	前田 将志		
事業所名	ベジファームおおがき		
施設長名	福田明美		
サービス種類等 (ブルダウンで選択)	就労継続支援B型事業所		
事業所 所在地等	〒503-0803 岐阜県大垣市小野4丁目57番地		
	電話 (0584)71-7900	FAX (0584)71-7905	
	E-mail <a href="mailto:akemi.f@zerox.co.jp">akemi.f@zerox.co.jp</a>	担当者 福田 明美	
	〒503-0009 岐阜県大垣市坂下町136		
法人本部	電話 (0584)47-8855	FAX (0584)47-8866	
	E-mail	担当者 前田 将志	
定員数 (令和6年4月)	10 名	現員数 (令和6年4月)	11 名
施設の特徴	ベジファームおおがきでは、 温度管理と散水管理を行った近代農業のハウス内で 菌床椎茸の栽培を行っています。 A型との多機能型で、一人一人の能力に合わせた作業の提供を行っています。 また、季節ごとの行事や余暇活動なども行っています。		
主要作業の内容	菌床の椎茸の芽かき(間引き)、椎茸収穫後の軸処理、出荷準備、乾燥シイタケ等		

## 2. 目標工賃月額の設定

【実績額と目標工賃月額】

各年度の目標工賃額は前年度の額以上としてください。

水色のセルは自動計算になっています。  
入力しないでください。

	実績額	目標工賃額		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年間売上高(①)	26,197,551円	26,200,000円	26,300,000円	26,400,000円
工賃支払総額(②)	2,797,884円	2,975,000円	3,000,000円	3,070,000円
年間述べ利用者数(a)※1	2,201人	2,360人	2,400人	2,420人
年間開所日数(b)	241日	246日	250日	250日
開所日1日当たりの平均利用者数(③)(a/b)※2	9.1人	9.6人	9.6人	9.7人
年間開所月数(④)	12月	12月	12月	12月
平均工賃月額(②/③/④)※3	25,622円	25,825円	26,042円	26,375円

※1 各日の利用者数の総数を入力してください。

※2 小数点第2位以下は四捨五入してください。

※3 円未満は四捨五入してください。

## 3. 工賃向上に向けた取組方針

これまでの目標工賃の達成状況に対する評価・課題・分析	まずは、日中活動の場の役割として、社会復帰を目指す方やA型事業所・一般就労へ向けて、各利用者の状況に合わせた利用を行っている。確実にステップUPするためにスマールステップでの支援を行っている。が、精神障害の利用者は季節の変わり目等で、精神的に不安定(波がある)となるため、中々安定した工賃に繋がらない。
工賃向上の取組方針	前年度9月より目標工賃達成指導員を配置し、工賃のUPへ繋がるように努めている。無理なく、全ての利用者が、毎日通所し作業時間が最大の5時間を目指せるように支援を行っていく。作業に関する手当査定、目標設定に基づき、一人一人の工賃が向上できるように支援していく。

令和6年度から3か年の具体的な取組方針(年度別)

令和6年度	毎日・最大の利用時間で利用している利用者の維持と、現在利用日数の少ない利用者がまずは、一人でも多く利用日数と利用時間を延ばせるように支援
令和7年度	作業に関する手当査定、目標工賃に基づいて、各利用者のスキルアップを促し、工賃が向上できるように支援
令和8年度	上記に加え、一人でも多く利用者が、現段階でA型利用者が取り組む作業の一部でも担えるように支援を行い、査定UPに繋げ、工賃が向上するよう支援

#### 4. 主要作業の現状と今後の取組

作業の区分	自主製品		
具体的な作業名	椎茸・乾燥品出荷準備作業、菌床芽かき(間引き)、菌床軸切り		
作業内容、特徴	乾燥シイタケの計量、袋詰め、値札貼付…全て座って行う作業で、体力のない利用者や利用開始間もない利用者も単純作業の繰り返しなので、取り組みやすい作業となっている。芽かき、軸切り…立ち作業で、菌床も重量があるため上記作業よりも集中力、注意力、体力等を要する。		
年間売上額	26,197,551 円	従事する利用者数	11 名
現状分析 課題	特に精神障害の利用者が、安定して利用が難しく、作業能力はあるものの取り組む時間(利用時間)が短くなっている。また、ルーティンが決まっている(拘りがある)利用者及び、現状維持(ステップUPをあまり望んでいない)を考えられている利用者に対しての支援(いかに工賃をUPするか)に課題を感じる。		
課題を踏まえた 目標・方針	定期的に行うモニタリングの時にだけでなく、利用者の状態や考えを把握することに努め、手当査定を意識して作業に取り組んでいただけるよう支援する。		
目標達成に向けた 方針・具体的な取組	令和6年度到達目標		
	まずは、利用日数の少ない利用者に対して、毎日通所出来るように支援。毎日の通所が難しい利用者は、通所できる日の利用時間を最大の5時間に近づけられるように支援する。		
	令和7年度到達目標		
	現時点で、毎日通所し最大5時間利用している利用者の利用を継続する中で、手当査定のUPを目指し、他の利用者は毎日通所し、現時点よりも利用時間を延ばせるように支援する。		
	令和8年度到達目標		
全利用者の毎日通所と5時間の利用が目指せるように支援。その上で、手当査定が1段階でも高いものとなるように促していく。			

##### 【関係資料】

- ・施設のパンフレット・自主製品の紹介資料
- ・工賃向上計画の内容を説明する補足資料(収支決算書等、必要に応じて添付)